

社会教育・文化振興課からお知らせ 佐川美術館 企画展

特別企画展

「吉左衛門X 浦上玉堂X 樂直入」

陶芸家 樂直入が深く影響を受けたもの・思惟を共有したもの・共感や感動したものを、関数Xとしてコラボレーションする展覧会です。

- 時・1期：9月30日(土)～10月29日(日)
・2期：10月31日(火)～12月3日(日)
・3期：12月14日(木)～令和6年1月28日(日)
※会期ごとに一部展示替え

秋季企画展

「ガウディとサグラダ・ファミリア展」

いよいよ完成の時期が視野に収まってきたサグラダ・ファミリアに焦点を絞り、100点以上の図面、模型、写真、資料に最新の映像を交えながらガウディ建築の豊かな世界に迫ります。

時9月30日(土)～12月3日(日)

いずれも

時午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)

¥一般1,300円、高大生900円(学生証要。専門学校・専修学校含む)

※中学生以下(保護者同伴要)、障害者手帳をお持ちの人(手帳要)と付添者(1人)は無料

他事前にウェブ予約・ネット決済で入館チケットを購入してください。

詳しくは、佐川美術館ホームページをご覧ください。

所・園佐川美術館 ☎(585)7800 FAX(585)7810

※休館日：月曜日(10月9日(月・祝)、1月8日(月・祝)は開館)、10月10日(火)、11月28日(火)、12月4日(月)～13日(水)、12月30日(土)～1月3日(水)、1月9日(火)



ホームページ

佐川美術館「アートコラム」 建築家・ガウディに学ぶ仕事術

学芸員 佐川美術館
深井千尋



働き方が多様化した近年、仕事で戸惑ったり悩んだりすることもあるのではないだろうか。私は悩んだとき、芸術家の生き方から解決のヒントを得ることがあります。

その中から今回は、スペインの建築家アントニ・ガウディ(1852-1926)に注目し、その仕事術を紹介します。ガウディの代表作といえば、1882年の着工以来、140年以上建設が続くサグラダ・ファミリア聖堂。多くの職人たちを率いて、この壮大な建築プロジェクトに挑んだガウディの仕事術には、「コミュニケーションの秘訣」が詰まっています。

建築は一般的に図面で表されますが、曲面を多用しているサグラダ・ファミリアは、図面で正確に造形を伝えることが困難です。そこでガウディは、完成イメージを職人たちに伝達するために、建物全体と各部の詳細な模型を作りました。この方法自体は伝統的なものですが、ガウディの特徴は、建物を造りながら模型に修正を加え続けた点です。職人たちは変化していく模型を見て、ガウディの思考の過程まで理解することができました。さらに、美しい模型を見せることで職人のやる気をかき立てる効果もありました。

このようにガウディは、自身のイメージを伝える最適な手段として模型を用いました。さまざまなコミュニケーションツールがあふれる現代、忙しいときはメールのように手軽な手段に頼りがちですが、一度立ち止まって最適な伝え方は何か考えることも大切です。ガウディの仕事術は、その大切さを現代の私たちに示してくれています。

※開館情報につきましては、ホームページでご確認いただくか電話[(585)7800]でお問い合わせください。